



# いわて医療通信 脳卒中を考える③

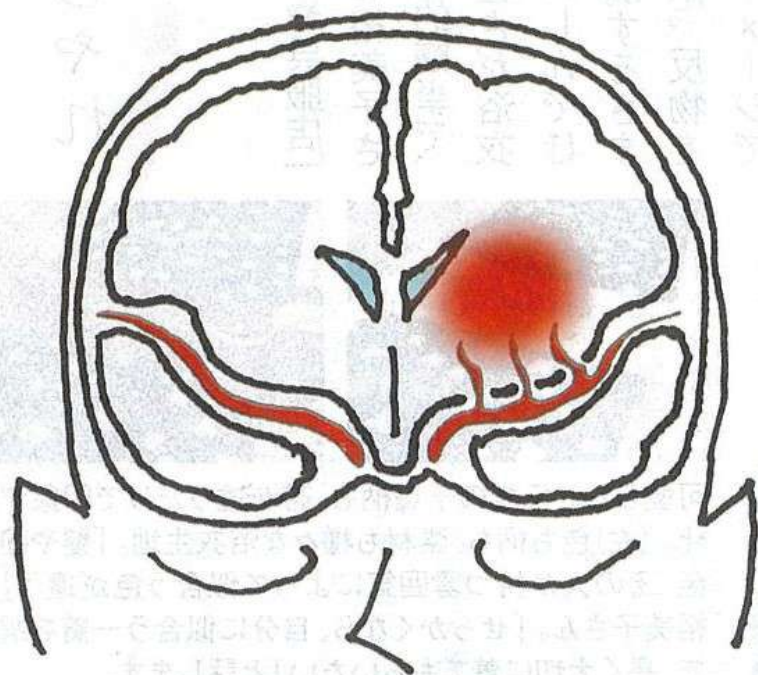
今回は前回書きました、  
①脳の血管が破れる病気の  
代表として『脳内出血』を取  
り上げます。

脳内出血は、脳の内部に  
入り込んだ血管が突然破れ  
て起こる状態です(図)。特  
に脳の深いところの血管が  
破れて起こることが多く、出  
血によって血の塊を作りま  
す。脳は頭蓋骨という閉ざ  
された空間で包まれていま  
す。脳内出血によって、出血  
による直接的な影響(その出  
血場所に局在する機能の障  
害)と、血の塊の圧迫による

(脳内圧の増加など)間接的  
な影響が起こります。  
これらにつ  
いて説明し  
ます。

出血に  
よってまず  
脳組織が破  
壊されます。  
その破壊さ  
れたことに  
よる症状が  
出現します。  
具体的には、  
片方の手足  
のマヒ(脳

は片方の脳で片方の上・下半  
身を支配していると大まか



に考えて下さい)、言葉の障  
害、出血の範囲が大きくなっ  
たり意識中枢の障害によっ  
て意識障害が見られます。

出血の範囲が広いような  
最重症型は死に至ります。  
脳内出血を起こす最大の原  
因は数年以上にわたる高血  
圧の既往です。生活習慣の  
改善や病院への通院・薬の内  
服等によってきちんと血圧  
を正常状態に下げていると  
脳内出血はある程度防ぐこ  
とが可能です。

岩手医科大学は2017年に  
創立120周年を迎えます



誠のあゆみ、未来へつなぐ